

船リール糸巻学習方法

商品コード	年式	品番	写真
RF293000	1996年	3000	 DIGITANA SLS CALCUTTA
RF321000	1996年	1000	 DIGITANA SLS 真鯛 Special TANAPITA
RF322000	1996年	2000	
RF311000	1996年	1000	 DIGITANA SLS 小船
RF312000	1996年	2000	
RF275000	1994年	5000	 DIGITANA SLS LEVER DRAG TWO SPEED
RF276000	1994年	6000	
RF262000	1994年	2000	 DIGITANA SLS LEVER DRAG
RF263000	1994年	3000	
RF265000	1994年	5000	
RF266000	1994年	6000	
RF252000	1994年	2000	 DIGITANA SLS 真鯛 Special
RF253000	1994年	3000	
RF244000	1994年	4000	 DIGITANA SLS 船
RF245000	1994年	5000	
RF246000	1994年	6000	
RF242000	1994年	2000	 DIGITANA SLS 小船
RF243000	1994年	3000	
RF232000	1994年	2000	 DIGITANA SLS 真鯛 Special TANAPITA
RF233000	1994年	3000	
RF222000	1994年	2000	 DIGITANA SLS 小船 TANAPITA
RF223000	1994年	3000	
RF195000	1990年	GT5000	 DIGITANA SLS LEVER DRAG TWO SPEED GT
RF196000	1990年	GT6000	
RF182000	1990年	GT2000	 DIGITANA SLS LEVER DRAG GT
RF183000	1990年	GT3000	
RF185000	1990年	GT5000	
RF186000	1990年	GT6000	
RF195000	1990年	GT5000	 DIGITANA SLS 真鯛 Special
RF196000	1990年	GT6000	
RF164000	1990年	GT4000	 DIGITANA SLS 船 GT
RF165000	1990年	GT5000	
RF166000	1990年	GT6000	
RF162000	1990年	GT2000	 DIGITANA SLS 小船 GT
RF163000	1990年	GT3000	

デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。
このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。
操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

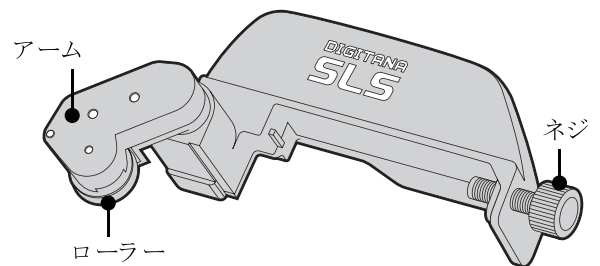
1 糸をセットします。

1 糸をスピールのピンに、結んでください。

2 4～5回ハンドルを正転させ、スピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

2 プログラムを取り付けます。

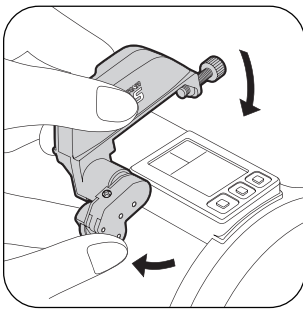
（付属のプログラムをご使用下さい。他のNO.のものは使えません。）



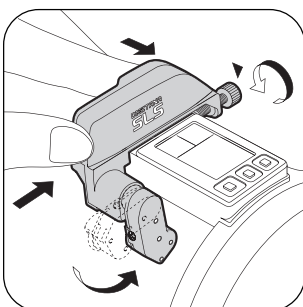
例：プログラムP -7 の各部名称

デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

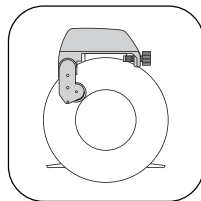
1 まず、プログラムのネジをゆるめます。
そして、アームが内側に入り込まないように、指でアームを起こしながらセットします。



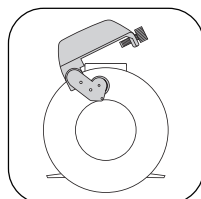
2 図のように、表示部の横にピッタリくっつけてセットし、ネジを締めてください。



正しいセット方法



誤ったセット方法



3 糸巻量を記憶させます。

1 電源ONを確認してください。

液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。
点灯していない場合は、ON/O セット ボタンを押して、電源をONにしてください。

電源をONする方法

ON/O セット ボタンを押してください。

電源をOFFする方法

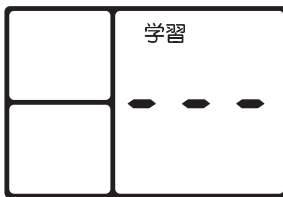
30分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。
ご自分でOFFにされる場合は“ 棚メモ ”と“ 底メモ ”のボタンを同時に3秒以上押し続けてください。

デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

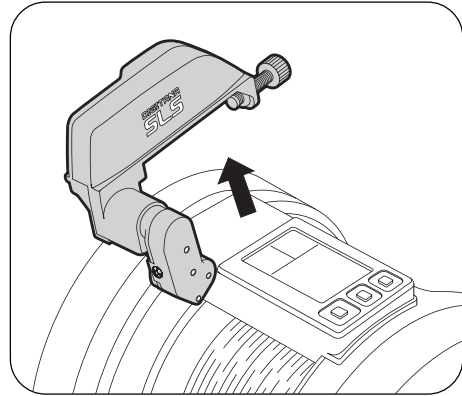
2 糸を巻いてください。

実際に釣りをするときと、同じくらいのテンションで、糸を巻いてください。
(約500g程度のテンションを目安にしてください。)

3 糸を巻き始めて、ローラーが糸にあたって回転するようになると、デジタル表示が図のようになります。



4 糸を完全に巻き終わったらネジをゆるめて、プログラマをはずしてください。



※プログラマは糸巻学習時のみ使用します。
実釣時には、不要です。

デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

5 底メモ、棚メモ、ON/O セット ボタンのいずれかを、押してください。

2回連続音が鳴り、巻かれた糸の量と、「OK」の表示が出ます。(巻き取り長さが26m以下ですと、「OK」の表示が出ず学習されません。)

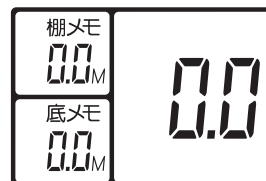


(例: 300m巻いた場合)

※通常船用の道糸は100m単位です。例えばポビン3巻で300m巻いたつもりでも、表示が303mというような数字になることがあります。これは糸の長さが長いために生じるものです。

6 これで学習は完了です。

学習が終わると、カウンターが「0.0」になります。
(カウンターの数値と実際の糸のでた長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)



注意:
学習が終わった後、電源ONの状態でもハンドルを回してスプールを空転させますと、表示はマイナスカウントになります。糸を出してもすぐにプラスカウントしない場合は0セットを行なってください。

プログラマー一覧

1990 年		
製品コード	品 番	プログラマ
RF162000	DT SLS 小船 GT2000	P-01
RF163000	DT SLS 小船 GT3000	P-01
RF164000	DT SLS 船 GT4000	P-2
RF165000	DT SLS 船 GT5000	P-2
RF166000	DT SLS 船 GT6000	P-2
RF172000	DT SLS 真鯛 GT2000	P-01
RF173000	DT SLS 真鯛 GT3000	P-01
RF182000	DT SLS LD GT2000	P-01
RF183000	DT SLS LD GT3000	P-01
RF185000	DT SLS LD GT5000	P-2
RF186000	DT SLS LD GT6000	P-2
RF195000	DT SLS LD2S GT5000	P-2
RF196000	DT SLS LD2S GT6000	P-2

1994 年		
製品コード	品 番	プログラマ
RF222000	棚ピタ SLS 小船 2000	P-01
RF223000	棚ピタ SLS 小船 3000	P-01
RF232000	棚ピタ SLS 真鯛 2000	P-01
RF233000	棚ピタ SLS 真鯛 3000	P-01
RF242000	DT SLS 小船 2000	P-4
RF243000	DT SLS 小船 3000	P-4
RF244000	DT SLS 船 4000	P-2
RF245000	DT SLS 船 5000	P-2
RF246000	DT SLS 船 6000	P-2
RF252000	DT SLS 真鯛 2000	P-4
RF253000	DT SLS 真鯛 3000	P-4
RF262000	DT SLS LD2000	P-4
RF263000	DT SLS LD3000	P-4
RF265000	DT SLS LD5000	P-2
RF266000	DT SLS LD6000	P-2
RF275000	DT SLS LD2S5000	P-2
RF276000	DT SLS LD2S6000	P-2

1996 年		
製品コード	品 番	プログラマ
RF311000	DT SLS 小船 1000	P-8
RF312000	DT SLS 小船 2000	P-8
RF321000	DT SLS 真鯛 1000	P-8
RF322000	DT SLS 真鯛 2000	P-8
RF293000	DT SLS カルカッタ 3000	P-7